

東京オリンピックと地域づくり

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を地域に役立てるために

開催日時	2017年 10月28 日(土) 13:30~16:50
会場	法政大学 ボアソナードタワー26階 スカイホール
定員	200名
参加費	無料(懇親会は3,000円)

法政大学大学院政策創造研究科は、2008年度に学部をもたない独立型大学院としてスタートしました。設立以降、修士289名、博士11名を輩出してきました。このように設立後8年半を過ぎ、順調に研究科としても発展していますが、引き続き同窓会を通じて、卒業後のネットワークを維持・拡大していきます。

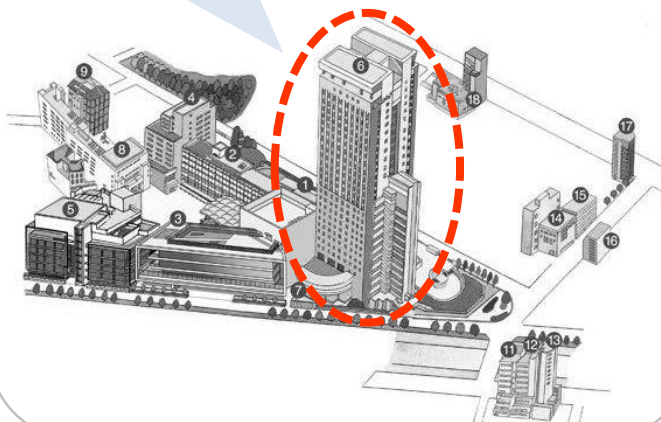
そして、今年も引き続きシンポジウムを開催します。今回のシンポジウムでは、地域づくり大学院である政策創造研究科の原点を踏まえ、東京オリンピック・パラリンピックを題材に、スポーツによる地域振興策、震災復興という多様な視点を盛り込み、深くこの論点を捉えていきます。卒業生のみならず、大学院への入学を検討している方やその他ご関心のある方など皆様奮ってご参加ください。

- Web受付システム ●
下記アドレスのフォーマットよりお申込みください。
→ <https://goo.gl/5pkzsW>

アクセス

<会場>
東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナードタワー26階 スカイホール

<最寄り駅からのアクセス>
市ヶ谷駅または飯田橋駅下車 徒歩10分



趣旨説明	13:30	
上山肇教授 (研究科長)		
基調講演	13:35	
「スポーツによる地域振興について」 ~各自治体が東京オリンピック・パラリンピックに活かすために~ 文部科学省・スポーツ庁関係の方を お招きする予定です (14:35 休憩)		
パネルディスカッション	14:50	
「東京オリンピック・パラリンピックと震災復興を考える」		
清水 浩司氏 マルトヨ食品(株) 取締役専務	小野寺 亮子氏 (株)気仙沼波止場 代表取締役	
気仙沼の地元でも有名な水産加工品ですが、農林水産祭水産部門の天皇杯を受賞した「さんまくん」(さんまのくんせい)は現在、機械を購入するためにファンドを組んでいる状況です。		
秋葉原の気仙沼のアンテナショップ「CHABARA(ちゃばら)」、横浜みなとみらいの「気仙沼PORT」などでの、気仙沼の特産品販売を手掛け、気仙沼の復興を推進する旗振り役を担っています。		
論点整理	16:10	
坂本光司教授 中小企業経営という観点から	岡本義行教授 地域および産業政策の観点から	樋口一清教授 CSRの観点から
閉会の挨拶	16:30	
シンポジウム後に、同窓会総会および懇親会(3,000円)を開催します。		
同窓会総会	16:35~16:50	
同窓会懇親会	17:00~18:00	

- お申込み及びシンポジウムについてのお問合せ ●
法政大学大学院事務部大学院課政策創造研究科担当
Tel : (03) 3264-6630 E-mail : rpd-j@hosei.ac.jp